

任意団体 「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会

全国・世界での生物多様性の主流化に向けた先導モデル創出・推進体制構築事業

イベントの延べ参加者数	8,000人
活動掲載ホームページのページビュー数	80ビュー
活動の全体目標に対する達成度	40%



日比谷公園にて紙芝居「一本の木の物語 サクラ」

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 教材「一本の木の物語」を活用しグリーンウェイブに参加登録を推進する体制を全国10地域で確立した結果、生物多様性について学ぶ機会を増やすことができた。
- 工夫** 教材「一本の木の物語」を配布活用して、全国各地とつながる工夫をしている。

課題

生物多様性の意味を理解する国民の割合は低調であり、特に「生態系サービス」についての取組みや理解は低く、自身の生活との繋がりを認識していない状態を変える。

活動内容

例えば、国内の、地域に根付いた生物多様性の主流化の促進に向けて、学校教育に導入できる生物多様性に関する環境教育の導入教材のモデルとして、22種類の樹木に関するプログラム「一本の木の物語」とその指導者用ガイドブックを作成している。ここでは、身近な樹種をテーマとし、これにかかわる生きもののつながりだけでなく、暮らしや文化との関わりなど、親しみやすい絵や表現でまとめる工夫をしたものである。



エコプロダクツ2015
クイズ「利き葉っぱ」

今後の課題

活動の拠点が東京にありながら、活動の成果を全国的に広げていくために、地域の実情を把握し、地域に即した手法や連携をもって、活動を展開していくようにしたい。